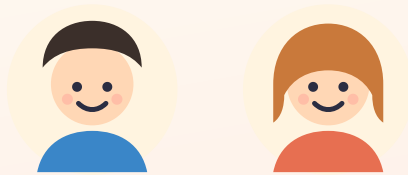




浴衣

夏を涼しく彩る、和の普段着



この教材の使い方

1

見て・ふれて・感じる

写真や実物、動画でも確かめてみましょう。身近な行事や食べ物の中にも、日本文化はたくさんあります。

2

「なぜ？」を考える

行事やしきたりには、それぞれ意味や願いがこめられています。由来を知ると、ぐっと面白くなります。

3

「やってみよう」で体験する

答えは30ページにあります。家族や地域の人に話を聞くのもおすすめです。地域によるちがいも楽しみましょう。



Ken (ケン)

日本の中学生。地元のお祭りが大好き。



Emma (エマ)

カナダから来た留学生。日本文化を勉強中。

もくじ

浴衣の入り口	3～4
浴衣を着てみる	5～11
浴衣で過ごす	12～15
確かめよう	16～19
くらべる・疑問	20～22
おさらい	23～25
つたえる	26～28
まとめ	29～30

浴衣がどんな衣服なのか、まず全体をつかみましょう。

夏祭りや花火大会など、夏の行事で着る人が多く見られます。



夏に着る、軽い生地和服

浴衣や着物を体に留める、腰に巻く布

- 浴衣は、着物に比べて生地が薄く、涼しく着られます。
- もともとはお風呂上がりに着るものだったといわれています。

1. 浴衣を着たことがあれば、そのときのことを書いてみよう。

江戸時代になると、湯上がりや夏の普段着として、庶民の間にも広まってきました。



- 昔は、寝間着代わりに浴衣を着ることもあったといわれています。
- 今では、夏祭りや花火大会でのおしゃれ着として親しまれています。

やってみよう

1. 浴衣の役割が時代とともに変わってきたことについて、どう思いますか。

書いて覚えよう

浴衣の生地と、柄にこめられた意味を学びます。

浴衣の生地と、柄にこめられた意味を学びます。

浴衣の生地の特徴

浴衣には、木綿や麻など、風通しがよく涼しい生地が使われます。汗を吸いやすいことも特徴の1つです。

花火柄

夏らしい夜空の華やかさを表す

朝顔・金魚柄

夏の風物詩をモチーフにした柄

縞・格子柄

シンプルで落ち着いた印象の柄

ポイント

- 柄には、涼しさや季節感を表す工夫がこめられています。
- 伝統的な柄だけでなく、現代的な柄の浴衣も多く見られます。

やってみよう

1. 好きな浴衣の柄を1つ書いてみよう。

書いて覚えよう

帯の結び方（文庫結び）

代表的な帯の結び方「文庫結び」を学びます。

文庫結び

ぶんこむすび／bunko musubi

リボンのような形にする、代表的な帯結び

半幅帯

はんはばおび／hanhaba obi

浴衣によく使われる、幅のせまい帯

ポイント

- 文庫結びは、比較的結びやすく、初心者にも人気の結び方といわれています。
- 結び方によって、後ろ姿の印象が大きく変わります。

やってみよう

1. 帯結びをしてみたいと思いましたか。理由も書こう。

書いて覚えよう

兵児帯と、男性の浴衣について学びます。

子どもにもよく使われる

幅の広いかたい帯を結ぶ

着崩れしにくいよう、さまざまな工夫がされています。

- 子どもの浴衣には、成長に合わせてサイズを調整できるものもあります。
- 動きやすさを考えた作りになっていることが多いです。

1. 子どものころに浴衣を着た思い出があれば書こう。

9

木でできた、浴衣に合わせる履き物

下駄を足に固定する、指の間にかける部分

- 下駄は、サイズが合っていないと歩きにくく、まめがでやすくなります。
- 浴衣の色柄に合わせて、下駄の色を選ぶ楽しみもあります。

1. 下駄を履いたことがあれば、感想を書いてみよう。

巾着とうちわ・浴衣を着る場面

浴衣に合わせる小物と、浴衣を着る場面を学びます。

巾着

浴衣に合う布製の小さなかばん

うちわ

手で仰いで涼をとる道具

髪かざり

髪をまとめる、和柄のかざり

ポイント

- 巾着は、ポケットのない浴衣で、財布やハンカチを持ち歩くのに便利です。
- うちわは、浴衣姿によく合う夏の小物としても親しまれています。

やってみよう

1. 浴衣に合わせてみたい小物を1つ考えてみよう。

書いて覚えよう

Lesson
14-15

夏祭りと浴衣・花火大会と浴衣

浴衣が活躍する夏の行事を学びます。

夏祭りでは、盆踊りや屋台を浴衣姿で楽しむ人が多く見られます。
花火大会でも、浴衣を着て夜空を見上げる光景が、夏の風物詩となっています。



Emma

花火大会に浴衣を着ていく人が多いのは、どうして？



Ken

涼しく着られる上に、お祭りの雰囲気ぴったりだからだと思うよ。

ポイント

- 浴衣姿は、夏の行事をより特別な気持ちにしてくれます。
- 混雑する場所では、はぐれないよう気をつけることも大切です。

やってみよう

1. 浴衣を着て行ってみたい行事を1つ書こう。

書いて覚えよう

旅館の浴衣

旅館やホテルで着る浴衣について学びます。

旅館の浴衣とは

旅館やホテルで用意される浴衣は、くつろぎ着として館内で着られることが多く、外出用の浴衣とは役割が少しちがいます。

ポイント

- 旅館の浴衣は、多くの場合、共通のサイズや柄で用意されています。
- 施設によって、着方や着られる範囲のルールがちがうことがあります。

やってみよう

1. 旅館で浴衣を着たことがあれば、感想を書いてみよう。

書いて覚えよう

浴衣で出かけよう

浴衣を着て、実際に出かけることを考えてみましょう。

出かける前のチェック

衿の合わせ方を確認

帯がゆるんでいないか

下駄で歩く練習

巾着に必要なものを入れる

慣れないうちは、家族と確認しながら準備すると安心です。

ポイント

- 初めて浴衣を着るときは、動きやすさも確認しておくとう安心です。
- 長時間歩くときは、休憩をはさみながら過ごしましょう。

やってみよう

- 浴衣を着て出かけるなら、どこに行きたいですか。

書いて覚えよう

写真や実物を見てみよう

見て、浴衣をもっと身近に感じましょう。

見てみよう

浴衣の写真集

呉服店の展示

夏祭りの写真

家にある浴衣や帯

実物の生地や帯を見ると、写真だけではわからない質感に気づけます。

ポイント

- 呉服店では、柄や色の組み合わせを実際に見ることができます。
- 家にある古い浴衣も、立派な資料です。

やってみよう

1. 見てみたい浴衣の柄や色を1つ書こう。

書いて覚えよう

体験してみよう

実際に体験すると、浴衣はもっと楽しくなります。

やってみよう

浴衣を着てみる

帯結びを練習する

下駄で歩いてみる

うちわを試してみる

多くは、家族の助けを借りながら家でも体験できます。

ポイント

- 体験すると、本や写真だけではわからない発見があります。
- 初めでは着崩れることもありますが、練習すれば慣れていきます。

やってみよう

1. この中から1つえらんで、実際に体験してみよう。
2. 体験して気づいたことを書こう。

書いて覚えよう

地域によるちがい

浴衣には、地域によるちがいもあります。

共通すること

日本各地に見られる考え方

夏に涼しく着る

軽い生地を選ぶ

行事に合わせて着る

祭りや花火大会など

ちがうこと

地域によって形がちがうもの

祭りでの着方

地域独自の祭り衣装もある

柄や色の好み

地域によって流行がちがう

ポイント

- 「浴衣は必ず～」と決めつけず、地域や家庭によるちがいを大切にしましょう。
- 地域のお祭りには、独自の衣装や着方が伝わっていることもあります。

やってみよう

- あなたの地域のお祭りのようすを1つ書こう。

書いて覚えよう

以前のようす

実用的な普段着

紺や縞模様など

今のようす

夏祭りや花火大会に

洋風デザインも人気

- 形が変わっても、涼しく夏を楽しむ心は受け継がれています。

1. 家族に、昔と今で浴衣の着方が変わったと感じることを聞いてみよう。

よくある疑問

浴衣について、よくある疑問を確認しましょう。

よくある疑問

Q. 浴衣と着物はどちらがいますか？

A. 浴衣は生地が軽く、着物より気軽に着られる夏の和服です。着物は季節や場面に応じて種類がさまざまです。

Q. 1人で着るのはむずかしいですか？

A. 慣れるまでは家族に手伝ってもらったり、着付け教室で練習したりすると安心です。

ポイント

- わからないことは、そのままにせず、本や詳しい人に聞いてみましょう。

やってみよう

1. 浴衣について疑問に思うことを1つ書こう。

書いて覚えよう

マナーと注意点

浴衣を着るとき、気をつけたいことがあります。

ポイント

- 着崩れたときは、無理に直そうとせず、周りの大人に相談しましょう。
- 花火大会や祭りの人混みでは、はぐれないよう気をつけましょう。
- 下駄で歩くときは、段差や坂道に注意しましょう。

ワンポイント 初めて浴衣を着るときは、家族といっしょに準備すると、安心して当日を過ごせます。

やってみよう

1. 浴衣を着て出かけるときに気をつけたいことを1つ書こう。

書いて覚えよう

用語をおさらい

この教材に出てきたことばを確認しよう。

浴衣のことば

☐ 浴衣

夏に着る、軽い生地の和服

☐ 帯

浴衣を体に留める布

☐ 文庫結び

代表的な帯の結び方

小物と履き物

☐ 下駄

木でできた履き物

☐ 巾着

浴衣に合う布製のかばん

☐ 兵児帯

やわらかく結びやすい帯

ワンポイント 覚えたことばに✓をつけよう。ことばを知ると、浴衣がもっと身近に感じられます。

書いて覚えよう

● オ. 木でできた履き物

2. 浴衣は必ず1人で着なければならない → (正しい / まちがい)

24

- | | | |
|--------------------------|-----------------|-------------|
| ☐ | 浴衣の特徴を1つ以上言える | 軽い生地・夏に着るなど |
| ☐ | 帯の結び方を1つ言える | 文庫結びなど |
| ☐ | 浴衣に合わせる小物を1つ言える | 巾着・うちわなど |
| ☐ | 浴衣を1つ体験した | 着てみる・帯を結ぶなど |

- ✓がつかなかった項目は、もう一度そのページを読み返してみましょう。

家族や友だちに話してみよう

学んだ浴衣のことを、自分のことばで伝えてみよう。

伝えたいこと

由来や意味

自分が感じたこと

相手に聞いてみたいこと

Ken の例

伝えたいこと 文庫結び／由来や意味 リボンのような形にする代表的な帯結び／自分が感じたこと 結び方1つで後ろ姿の印象が変わると知って驚いた／聞いてみたいこと 好きな浴衣の柄はあるか

ポイント

- 聞いてもらう相手に合わせて、ことばを選んでみましょう。

書いて覚えよう

英語で紹介してみよう

浴衣を、短い英語でも紹介できるようにしよう。

浴衣

ゆかた / summer kimono

夏に着る、軽い生地の和服

帯

おび / sash

浴衣や着物を体に留める布

Emma

浴衣を英語で紹介するとき、どう説明する？



Ken

夏に着る軽い和服で、お祭りでよく着られる、と伝えるようにしているよ。

ポイント

- すべてを直訳しようとせず、意味を簡単なことばで伝えることが大切です。

やってみよう

- 紹介したい浴衣の見どころを1つ選び、短い英語で説明してみよう。

書いて覚えよう

もっと知りたい人へ

浴衣の世界は、ここからどんどん広がります。

調べる方法

図書館で

浴衣や着物の本を借りる

呉服店へ

実際の生地や柄を見に行く

家族に

浴衣の思い出を聞く

次に学びたいテーマ

着物と和の装い

着物全体のひみつ

夏祭り

盆踊りや屋台の文化

花火

夏を彩る伝統の楽しみ

ポイント

- 浴衣を学んだ次は「着物と和の装い」もあわせて学ぶと、理解が広がります。

書いて覚えよう

浴衣チャレンジ

教室の外でも、浴衣の魅力はすぐに見つけられます。

見つけよう

写真や映像で**浴衣姿**を1つ探す

聞いてみよう

家族に**浴衣の思い出**について質問する

伝えよう

浴衣の魅力を**友だちや家族に紹介**する

こたえ

L28 浴衣→イ 帯→ウ 文庫結び→エ 下駄→オ 巾着→ア 2. 正しい / まちがい

L33 (例) 浴衣とは、軽い生地で作られた、夏に着る和服のこと。

書いて覚えよう

浴衣 (Season 7 | No.65)

発行：一般社団法人文化芸術支援協会

この教材の著作権は一般社団法人文化芸術支援協会に帰属します。個人の学習および家庭内での利用に限り、閲覧・保存・印刷ができます。

有料の講座・塾・研修での使用、販売・再配布、改変しての公開、生成AIへの入力などの商用利用は禁止しています。

くわしくは当協会ウェブサイトの「ウェブサイト利用規約」をご覧ください。